

# 令和4年度 定例主任会(1月)

実施 日:令和5年1月30日(月)

時 間:10時00分~11時30分

実施会場: A2-2

参加予定者(敬称略):理事長、副理事長、校長、教頭、山脇、毎熊、境優希、江頭、中田、山田、小野、坂田、伊藤

※令和4年度 経営計画を持参ください

## 【 議 題 】

### ■経営計画 報告

(転校生受入) 在籍生徒数:636名

- ・5月1日付 5名(0)      ・6月1日付 9名(+1名)      ・7月1日付 7名(-1名)
  - ・8月1日付 12名(+5名)      ・9月1日付 3名(0)      ・10月1日付 40名(+7名)
  - ・11月1日付19名(-1名)      ・12月1日付12名(+4名)      ・1月1日付 22名(+2名)
- 5月1日~1月1日年度途中転校生受入れ 合計129名(+17名)

### ■PDCAシートについて

■12月に報告があった非活動生徒へのその後の対応報告について

■12月1日より出席停止の生徒状況報告

■12月1月転入生スクーリング、試験に参加させる非活動生徒他の名簿確認

■通信制高等学校点検調査 結果報告について

■2月以降の主任会について

■その他情報共有

- ・1月20日メール送信済 職員専用 WEB ページについて
- ・改装工事について



# 主任会月報（ 1 月）

教務部

主任名                      每 熊 将 嗣

## 令和4年度重点目標

- ① 一人一人の進路に応じた、多様な可能性の伸長と進路の実現
- ② 生徒の思いに寄り添い、自己実現を図るための教育相談の推進
- ③ ICTを効果的に活用して、自律的に学習を進める能力の育成

## 校務分掌の目標

	達成 ←————→ 未達成				
○個々の生徒の履修状況、学習状況を把握し、適正な成績処理・管理を行う	5	4	3	2	1
○校務処理を効率的にかつ正確に行う	5	4	3	2	1
○非活動生徒を把握し、早期に発見し、早期に対応する	5	4	3	2	1
○ICTの効果的な利活用を模索し、狭域、広域ともに対応できる教育活動を実現する。	5	4	3	2	1
○生徒・保護者・教員の転編入相談や個人相談に丁寧に対応し適切に処理する	5	4	3	2	1
○学校行事や特別活動を計画的に実施し、目標の達成度を適切に評価する	5	4	3	2	1
○諸帳簿の確認、点検、保管を徹底する	5	4	3	2	1
○動画配信を計画的、定期的に行い、在宅生、サポート校生の学校生活の充実を支援する	5	4	3	2	1
○ホームページやKOKOROLINEを利用し細かな情報配信や、余裕をもったスケジュール管理に努める。	5	4	3	2	1

## 前回の主任会からの進捗報告

- ・レポート作成は、加筆修正を先生方をお願いしている段階です。
- ・在宅通信（本部・サポート校）のスクーリングと試験が終了（一部生徒を除く）
- ・W、Tともに、対策授業と試験のみになります。

## 主任会にて議題にしたいことや全体への相談、報告

- ・成績（新課程）や指導要録等に関する事でご相談があります。

# 主任会月報（ 1 月）

生徒指導部

主任名 境 優 希

---

## 令和4年度重点目標

- ① 一人一人の進路に応じた、多様な可能性の伸長と進路の実現
- ② 生徒の思いに寄り添い、自己実現を図るための教育相談の推進
- ③ ICTを効果的に活用して、自律的に学習を進める能力の育成

## 校務分掌の目標

		達成 ←		→ 未達成	
○挨拶、身なり、時間の遵守など基本的なマナーを身に付けた生徒を育てる	5	④	3	2	1
○広域通信制高等学校として効率的に生徒の状況把握に努める	5	④	3	2	1
○生徒会活動等を通して、目的意識をもって主体的に活動する生徒を育てる	⑤	4	3	2	1
○諸活動での生徒の安全に留意し、生徒が安心して活動できる環境をつくる	5	④	3	2	1
○健康的な生活を心がけ、自己管理能力を向上させるよう支援する	5	4	③	2	1
○生徒のアルバイト状況や運転免許取得状況などの実態を把握し、起こり得る、諸リスクへの対応について指導し対応する	5	④	3	2	1
○SNSなどについて適切に活用できる力と態度を育成する	5	4	③	2	1

## 前回の主任会からの進捗報告

- ・引き続き、巡回指導をおこなっている。事前に防げるように見守りを継続させていきたい。

## 主任会にて議題にしたいことや全体への相談、報告

- ・生徒指導案件 指導中学生徒。  
 1年生 田島（喫煙、SNS）2回目 ※上手くいっていない。学年と連携を図り指導をしていきたい。  
 2年生 八田（窃盗）  
 3年生 恒石（無断免許取得、交通事故）  
           市川（無断免許取得、交通事故）
- ・単位認定試験が実施されるので染髪指導等、徹底して行っていきたい。

## 主任会月報（ 1月 ）

進路指導部

主任名           中 田 充 朗          

### 令和4年度重点目標

- ① 一人一人の進路に応じた、多様な可能性の伸長と進路の実現
- ② 生徒の思いに寄り添い、自己実現を図るための教育相談の推進
- ③ ICTを効果的に活用して、自律的に学習を進める能力の育成

### 校務分掌の目標

		← 達成			→ 未達成
○各学年に応じた進路情報を提供し、早期に目標設定ができるよう指導を行う	5	4	3	2	1
○進路ガイダンスや学校見学会等への積極的な参加を促し、意識の高揚を図る	5	4	3	2	1
○個々の進路希望に応じて学力保障のための補習、面接指導等を計画的に行う	5	4	3	2	1
○在宅生、サポート校生の進路指導について、指導の機会を創出し、進路保障の充実を図る	5	4	3	2	1

### 前回の主任会からの進捗報告

推薦入試は落ち着き、年が明け一般入試に時期を迎えている。共通テストの受験（佐世保校4名）の受験は終了した。

就職希望の生徒も朝長先生を訪ね、相談をし、受験を考える生徒が見られる。

来月には再度未決定者の調査を行い、減少を図りたい。

### 主任会にて議題にしたいことや全体への相談、報告

# 主任会月報（ 1 月）

教育相談部

主任名 江 頭 健 剛

---

## 令和4年度重点目標

- ① 一人一人の進路に応じた、多様な可能性の伸長と進路の実現
- ② 生徒の思いに寄り添い、自己実現を図るための教育相談の推進
- ③ ICTを効果的に活用して、自律的に学習を進める能力の育成

## 校務分掌の目標

		達成 ←		→ 未達成	
○支援を必要とする生徒の把握と情報の収集に努め、問題の早期発見を図る	5	④	3	2	1
OSC、SSWとの情報共有を密にして、個別の支援計画による適切な支援を行う	5	④	3	2	1
○受容を心がけるとともに、生徒とのふれあいを深める環境づくりを推進する	5	④	3	2	1
○教育・医療・福祉等関係機関との連携を密にして、きめ細やかな指導を行う	5	4	③	2	1
○全教職員の専門知識の向上のための機会や情報発信の場を創出する	5	4	③	2	1

## 前回の主任会からの進捗報告

在宅通信制生徒の個別スクリーニングを継続中です。

2/1（水） 5校時：生物基礎 <有永先生> 2名  
           6校時：C英語Ⅰ <前原・江頭先生> 5名  
           7校時：C英語Ⅰ <前原・江頭先生> 5名

2/7（火） 5校時：科学と人間生活 <有永先生> 2名  
           6校時：科学と人間生活 <有永先生> 2名

※1/25（水）④⑤⑥で実施予定にしていたが積雪による休校の為実施出来なかった。

## 主任会にて議題にしたいことや全体への相談、報告

# 主任会月報（ 1 月）

事務部/総務部

主任名         坂 田 裕 也        

## 令和4年度重点目標

- ① 一人一人の進路に応じた、多様な可能性の伸長と進路の実現
- ② 生徒の思いに寄り添い、自己実現を図るための教育相談の推進
- ③ ICTを効果的に活用して、自律的に学習を進める能力の育成

## 校務分掌の目標

		← 達成		→ 未達成	
○学校教育目標達成に向け、また、広域通信制高校としての適正化に努め、効果的な教育活動推進のため、事務部として支援を行う	5	4	3	2	1
○業務に関する知識を身に付け、迅速・正確に学校事務に取り組む	5	4	3	2	1
○学校財政状況を的確に把握し、確かな学力の定着・向上につながるよう効果的な運用を行う。 また学費未納生徒について細かな情報共有と、対応策の検討を迅速におこなう	5	4	3	2	1
○生徒、来校者が安全で快適に過ごせる学校環境を整える。また、生徒の見本となる挨拶、来校者へ気持ちの良い挨拶を心がける	5	4	3	2	1
○組織の一員として他の職員と連携・協働しながら、業務の効率化を図る	5	4	3	2	1

## 前回の主任会からの進捗報告

別紙にて説明。

## 主任会にて議題にしたいことや全体への相談、報告

## 主任会月報（ 1月）

未来教育推進室

主任名 伊藤 佳代子

### 令和4年度重点目標

- |   |
|---|
| ① 一人一人の進路に応じた、多様な可能性の伸長と進路の実現<br>② 生徒の思いに寄り添い、自己実現を図るための教育相談の推進<br>③ ICTを効果的に活用して、自律的に学習を進める能力の育成 |
|---|

### 校務分掌の目標

	達成 ←				▶ 未達成
○マスメディア、SNS、ホームページ、各種イベント等を用いた戦略的な広報展開に努める	5	4	③	2	1
○未来教育推進室の活動を通じ、こころ未来高等学校の教育の充実、発展に寄与する	5	4	③	2	1
○通信制高等学校連携校の開拓を行い、連携校のニーズを捉え、的確な連携、支援を行う	⑤	4	3	2	1
○一般社団法人全国専門能力検定協会SDGs認定機構の事業確立をめざす。またSDGsマイスター検定の普及活動に尽力する	5	4	3	2	1
○NPO法人全国ゆめ未来支援協会の活動内容の充実を図り、更なる社会貢献をめざす	5	4	3	2	1
○補助金や助成金（委託事業、助成金事業や補助事業）を積極的に活用し、新しい事業活動や、新たな取組の展開に努める	5	4	3	2	1

### 前回の主任会からの進捗報告

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夢未来高等学院しまばら（株式会社NEW SENCE）サポート校契約完了</li> <li>・ 1月30日 株式会社愛真美（奈良県）訪問予定</li> </ul> |
|---|

### 主任会にて議題にしたいことや全体への相談、報告

--

# 主任会月報 ( 1 月)

その他

主任名 境 佑介

---

## 令和4年度重点目標

- ① 一人一人の進路に応じた、多様な可能性の伸長と進路の実現
- ② 生徒の思いに寄り添い、自己実現を図るための教育相談の推進
- ③ ICTを効果的に活用して、自律的に学習を進める能力の育成

## 校務分掌の目標

		達成 ←		→ 未達成	
○職員が連携・協働して教育活動を行える職場環境づくりのため、適切な情報提供・共有を行う。また保護者との連携を図り、不登校、非活動生徒の予防指導、早期対応を強化する	5	④	3	2	1
○選択授業の充実、環境整備を行い、専門分野の知識、技術の取得に努める。また担当教諭は非常勤講師との情報共有を密に行う。	5	4	3	②	1
○学校運営スタッフの一人として、また生徒とのコミュニケーションの手段として積極的な挨拶・声かけに努める。(挨拶のできる明るい学校作り、会議参加の心得として話している人に体を向け耳を傾ける)	5	4	③	2	1
○教職員の業務の拠点としての職員室が、機能的で使いやすいよう、環境整備(整理整頓)に努める	5	4	3	②	1
○校舎内の節電、備品管理、整理整頓に努める	5	4	③	2	1
○保護者や地域の方を含め、外来者に対して明るく気持ちのよい対応を心がける	5	④	3	2	1
○広域通信制高等学校としての本部機能の確立を目指す(ICT化に対応する)	5	4	③	2	1
○SDGsを正しく理解し、積極的に推進する。これは一般社団法人全国専門能力検定協会SDGs認定機構が推進しているからだけでなく、国が推進しているものであって、学校教育を通じて、生徒とともにSDGsが掲げる世界の実現を目指していく。	5	4	③	2	1
○校舎内喫煙ルール	5	4	3	②	1

## 気付き

- ・職員室の整理整頓について分掌部会、学年部会で周知を。
- ・継続して校内喫煙ルールの徹底をお願いします。



## 主任会月報（ 1月 ）

1 学年

主任名 江 頭 健 剛

---

### 令和4年度重点目標

- ① 一人一人の進路に応じた、多様な可能性の伸長と進路の実現
- ② 生徒の思いに寄り添い、自己実現を図るための教育相談の推進
- ③ ICTを効果的に活用して、自律的に学習を進める能力の育成

### 非活動・音信不通生徒の進捗／コース移動の報告

	氏名	状況報告	後期からの学校生活
記入例	坂井 隆介	前期2回の登校しかない	休学
記入例	中井 啓介	音信不通で文書にて所在確認中	除籍としたい
記入例	岩永 ころ	学校生活は良好であるが進学のためコース移動希望	在宅へコース移動
1	1-1W:園田 カノン	10月に身内である母親の死去により、心と体のバランスを崩し、欠席の状態が続いていた。11月末、父親・担任・源先生と面談を実施し、後期の単位取得についての状況を説明した。	源先生の付き添いのもと心療内科受診&薬の処方により、冬休み明けより授業に参加できるように促しているが1/26（木）時点で登校出来ていない。
2	1-2W:奥野 さくら	1月中旬に父親より、担任（佐藤T）に連絡が入り、11月末より父親と本人とで話し合いがなされていない為に進退については未定。	父親より退学の申し出
	1-2W:緒方 陽菜乃	学費未納について保護者（母親）に年末年始で担任および学年主任で連絡を入れているが未だつかない。	1/24（火）時点で、生徒本人へ保護者から学校へ早急に連絡を入れる旨を担任より伝えている所です。
3	1-1T:田島 空翔	11月より生徒指導部による特別指導継続中	
4			
5			
6			

### 主任会にて議題にしたいことや全体への相談、報告

8

## 主任会月報（ 1 月）

2 学年

主任名 山 田 克 之

### 令和4年度重点目標

- ① 一人一人の進路に応じた、多様な可能性の伸長と進路の実現
- ② 生徒の思いに寄り添い、自己実現を図るための教育相談の推進
- ③ ICTを効果的に活用して、自律的に学習を進める能力の育成

### 非活動・音信不通生徒の進捗／コース移動の報告

氏名	状況報告	後期からの学校生活
1 畑中 拓馬	レポート提出が気になっている様子。	
2 高木 悠晴	補講に参加することができた	
3 井上 肇	昼夜逆転。	
4 岩永 昂樹	連絡はとれている	
5 熊崎 駿	補講に参加することができた	
6 橋本 昭輝	補講に1日参加。松本聖那が誘いの連絡。	
7 山川 渚紗	面談予定。	後期出席0。
8 岩永 優奈	ほとんど来れていない。母親とは連絡はとれている。	
9 杉林 紅葉	補講に参加することができた	
10		
11		

### 主任会にて議題にしたいことや全体への相談、報告

・井村咲人が1月24日登校してきたが学費の件について何も進展しておらず帰宅させた。本人は母親が学費を払ったものと思っでの登校であったが、支払いや学校への連絡がないことを話し、母親に学校へ連絡してくれるよう伝えた。

## 主任会月報（ 1 月）

3 学年

主任名            境    優   希

---

### 令和 3 年度重点目標

- ① 一人一人の進路に応じた、多様な可能性の伸長と進路の実現
- ② 生徒の思いに寄り添い、自己実現を図るための教育相談の推進
- ③ ICTを効果的に活用して、自律的に学習を進める能力の育成

### 非活動・音信不通生徒の進捗／コース移動の報告

	氏名	状況報告	後期からの学校生活
記入例	坂井 隆介	前期 2 回の登校しかない	休学
記入例	中井 啓介	音信不通で文書にて所在確認中	除籍としたい
記入例	岩永 ころこ	学校生活は良好であるが進学のためコース移動希望	在宅へコース移動
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

### 主任会にて議題にしたいことや全体への相談、報告

- ・学費未納について 電話連絡、家庭訪問実施
- ・特別活動不足生徒（T 伊藤、中川、下山） 2日、9日
- ・単位認定試験 2月1日2日3日で実施。その他の科目については6日～9日 午前中実施
- ・美容師国家試験組（浅田、廣佐古）、入試組（浅井、平野り、平野た）6日～
- ・生徒指導 市川夢菜

# 主任会月報 ( 1 月)

在宅通信制

主任名 小野 浩司

## 令和4年度重点目標

- |                                |
|--------------------------------|
| ① 一人一人の進路に応じた、多様な可能性の伸長と進路の実現  |
| ② 生徒の思いに寄り添い、自己実現を図るための教育相談の推進 |
| ③ ICTを効果的に活用して、自律的に学習を進める能力の育成 |

## 非活動・音信不通生徒の進捗／コース移動の報告

氏名		状況報告	後期からの学校生活
記入例	坂井 隆介	前期2回の登校しかない	休学
記入例	中井 啓介	音信不通で文書にて所在確認中	除籍としたい
記入例	岩永 ころこ	学校生活は良好であるが進学のためコース移動希望	在宅へコース移動
1	村上 優翔 Z1	補講も登校できなかった。	S SWと連携を図り、12月1月転入生スクーリングで登校を促す。
2	平山 沙那 佐賀1	面談後の進展はなく、佐賀職員で継続して面談を実施していく方針	連絡待ち
3	酒井 拓都 ぎふ1	担当職員と面談中。→継続して面談の実施中	連絡待ち
4	柴山 駆 ぎふ1	担当職員と面談中。→継続して面談の実施中	連絡待ち
5	園田 悠梨 Z2	補講も体調が整わず欠席。	12月1月転入生スクーリングで登校を促す。
6	林田 優華 Z2	最近は連絡をしても返信がない。引き続き本人とLINE等でやり取りを行う。	①S SWと連携して、12月1月転入生スクーリングで登校を促す。 ②登校時に本人に学費残高の納入を促す。
7	川村 優香 Z3	何度か連絡がしたが、連絡も付かず折り返しもない。	S SWと連携して、12月1月転入生スクーリングで、少しでも単位が取れるようにしていきたい。
8	山本 俊瑛 Z4	連絡が取れない状況が続いている。	弁護士のアプローチに対する返答次第では、除籍をお願いしたい。
9	西田 隆之介 Z4	登校ができていない。	S SWと連携して、今後について面談を実施していく意向。日時は未定。
10	伊藤 禅 Z1	全日程登校済み。レポート提出合格済み。スクーリングで頑張りすぎて、精神的に落ち込んでいる状況。	家庭訪問を実施して、単位の修得の方法について話し合う。
11	奈良平 彩香 Z1	入学前から冬場になると足が動かなくなると申し出があり、ツーデーから在宅に異動。 夏季スクーリングでは問題はなかったが、現在、ベッドから起き上がることもできない状況。	かろうじて出席ができた科目単位の修得を目指す。 「個別の教育支援計画」を作成し、医療と連携して自宅試験をしていきたい。

教育相談部との  
連携(個別)

## 主任会にて議題にしたいことや全体への相談、報告

### 報告、相談

・12月1月転入生が多く入学してきています。2月に実施されるスクーリングでは、通信制の仕組みに慣れてもらうことと安心して登校できる環境づくりを目指しています。授業はもちろん、登下校や休み時間等での温かい言葉かけをよろしくお願いします。

・別紙名簿にあるように、最終補講を予定しているBC日程生徒が多数います。全員を3月の試験に呼ぶと教室数等が不足することが考えられるため相談の結果、ある程度の人数を2月6日からの3WTの欠試、追試日程で解消するようにしました。またご迷惑をおかけしますが、協力のほどよろしくお願いします。

在宅通信制コース 試験、2月スクーリング対象生徒

①試験日程 令和5年2月6日(月)から2月10日(金)午後から3時間

②スクーリング日程 令和5年2月13日(月)から2月15日(水)

第一学年				第二学年				第三学年			
1Z	試験	スクーリング	備考	2Z	試験	スクーリング	備考	3Z	試験	スクーリング	備考
1	阿部 心美	新		1	赤尾 倅菜	進		1	相川 智春	進	
2	小川 奏	新		2	伊東 幸哉	進		2	石橋 菜穂	進	○ 体調不良
3	木村 陸	新		3	井上 将希	進		3	石橋 心優	進	
4	毎熊 星乃嘉	4	○ ○ 体調不良	4	内田 杏樹	進	○ 登校促し	4	板橋 健太	進	
5	高柳 晴果	4		5	江上 花音	進		5	岩崎 羽菜	進	
6	種口 遥奏	4		6	小野 四季	4	○ 体調不良	6	團 珠莉	進	○ 体調不良
7	中野 智哉	新		7	加納 忠	進	○ 体調不良	7	川副 希颯	進	
8	中村 珠那	新		8	川上 銀河	進	○ 体調不良	8	川原 生愛	進	○ 体調不良
9	奈良平 彩香	新		9	川口 悠斗	進		9	川村 優香	進	○ 登校促し
10	西 淳輝	4	○ コロナ関連	10	本多 聖来	進		10	黒瀬 健斗	進	
11	平戸 浩晴	新		11	川内 李々衣	進	○ 体調不良	11	桑崎 美汐	進	
12	保喜 華凜	新		12	喜多 航大	進	○ 登校促し	12	小島 美音	進	
13	マカディー リサ 智美	新		13	木本 雄介	進		13	酒井 あすさ	進	○ 体調不良
14	溝口 桜	新	○ コロナ関連	14	酒井 航	進		14	貞松 知希	進	
15	村上 優翔	新	○ 登校促し	15	柴田 木ノ葉	進		15	柴田 みほ	進	
16	山添 茉莉	新		16	園田 悠梨	進	○ 登校促し	16	白水 芽依	進	○ 体調不良
17	山道 悠稀	新		17	谷下 美悠	進	○ 体調不良	17	杉田 莉理香	進	
18	吉田 光太郎	新		18	中島田 紗希子	進		18	恒石 陽翔	進	
19	白水 空駕	8		19	西 ひなた	進	○ 体調不良	19	長江 夢果	進	
20	宮地 怜也	9		20	法村 藍人	4		20	中村 珠羅	進	
21	川原 珠実	10		21	濱邊 夢叶	進		21	西村 柚香	進	
22	吉田 優唯	10		22	林 愛梨	進		22	野下 紗那	進	
23	高尾 志緒里	新	○ コロナ関連	23	林田 優華	進	○ 体調不良	23	馬場 愛留	進	○ 体調不良
24	佐藤 浩太	新	○ コロナ関連	24	東 園華	進		24	馬場 麻梨花	進	
25	江川 莉央	新	○ コロナ関連	25	福丸 和志	4		25	原田 こころ	進	
26	伊藤 禪	11	○ 体調不良	26	藤原 陸	進		26	平山 大智	4	
27	本田 統真	新	○ 体調不良	27	古川 心捺	進	○ 体調不良	27	前田 花音	進	
28	山脇 惠奈	新	○ コロナ関連	28	前田 陸翔	進	○ 登校促し	28	牧野 莉緒	進	
29	松本 千夏	新	○ 登校促し	29	松尾 龍河	進	○ 体調不良	29	松本 空	4	
30	荒木 愛菜	11		30	宮田 里乃	進	○ 登校促し	30	松本 奈菜	進	
31	幸田 ひな	新	○ 体調不良	31	山越 一輝	進	○ 体調不良	31	水田 麻紀	進	
32	木下 華	新		32	山崎 愛里	進		32	村岡 瑠那	4	
33	法村 夢人	11	○ 登校促し	33	渡邊 彩華	進		33	岩永 明香理	4年	
34	松本 獅音	11		34	寺田 愛菜	6		34	山本 俊瑛	4年	
35	藤原 麻奈	12		35	中尾 遼希	7		35	西田 隆之介	4年	
36	石井 凜	12		36	松本 亜沙都	8	○ 体調不良	36	湯川 妃奈	5年	
37	蒔添 雄大	12		37	里 凜太郎	10		37	千代田 琉花	5年	
38	和田 彩芭	12		38	飯星 風香	10		38	林田 佑也	5年	○ 事故欠
39	吉川 紗綾	12		39	内藤 杏実	10	○ コロナ関連	39	青木 雄我	6年	
40	角 夢乃	12		40	前田 佑樹	進	○ 登校促し	40	宮西 結子	7	
41	小川 蒼天	1		41	池寄 美尋	進	○ 登校促し	41	新福 眞生	8	
42	下原 ほのか	1		42	横尾 実里	進	○ 登校促し	42	渡部 孝士郎	8	
43	鶴田 優輝	1		43	永石 浩基	進		43	土屋 優	10	
44	毛利 羅我	1		44	森 颯天	10		44	西平 柚花	10	
45	本村 祐樹	1		45	岩本 椋子	10		45	林 晃大	10	
46	石原 琴音	1		46	清川 梨鈴夢	11		46	田中 裕大	10	
47	本田 優揮	1		47	城川 太一	11		47	海邊 健世	10	
				48	中村 蓮	12		48	坂井 智香	進	
				49	三浦 蓮史	1		49	児玉 葵	10	
				50	上田 亜依奈	1		50	大川 優衣那	進	○ 体調不良
				51	間賦口 真優佳	1					
				52	宮崎 福次郎	1					

12月1月転入生スクーリング及びテストに参加させたい生徒一覧

<1学年より>

1-1W	1-2W	1-1T	1-2T
一瀬 菜央	鴨川 実瑠	田島 空翔	
中嶋 隆心			

<教育相談部より>

1年W：園田 カノン	1年T：福岡 涼雅		
1年在：佐藤 浩太	1年在：奈良平 彩香		
2年在：池寄 美尋	2年在：内田 杏樹	2年在：川内 季々衣	2年在：喜多 航大
2年在：前田 陸翔	2年在：前田 佑樹	2年在：園田 悠梨	2年在：宮田 里乃
3年在：川村 優香	3年在：白水 芽依		

## こころ未来高等学校に対する点検調査結果

こころ未来高等学校（以下「同校」という。）においては、点検調査の結果、以下の点に留意して、教育の質の向上・学校運営の改善に努めることが必要であると考えられる。

なお、同校の教育の質の向上・学校運営の改善にあたっては、以下の点を含め、学校教育法等の関係法令及び「高等学校通信教育の質の確保・向上のためのガイドライン」（平成 28 年 9 月策定、令和 3 年 3 月一部改訂）等に基づき、適切に行うことが必要であることを申し添える。

### 1. 学校の管理運営に関する事項

○ 同校の学則では、高等学校通信教育規程（昭和 37 年文部省令第 32 号。以下「通信教育規程」という。）第 3 条第 3 項に規定する「協力校」には該当しない面接指導を実施する施設が協力校の箇所に記載されており、また、学習等支援施設としているものが実際は面接指導等実施施設である（例：夢未来高等学院佐賀校について、学則上は学習等支援施設であるが、実際は当該施設において試験を実施している）など、学則に記載されている内容と実態が異なるものであったことから、再度これらの施設について整理を行い、学則に適切に記載すること。

○ 同校では、養護教諭が担う業務をスクールソーシャルワーカーで代替しているとのことであるが、不登校経験や中途退学その他多様な課題を抱える生徒の実態等に対応するため、養護教諭の配置を検討し、生徒への支援の充実に努めること。

○ 同校では、学校保健安全法（昭和 33 年法律第 56 号）第 23 条第 1 項及び第 2 項に基づき、学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を置いているが、これらの者に係る執務記録簿の確認ができなかったため、学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 28 条第 1 項第 2 号に基づき、早急に備えること。 ✓

○ 同校では、学校保健安全法第 5 条の規定による「学校保健計画」及び同法第 27 条の規定による「学校安全計画」を作成していないため、早急に作成すること。 ✓

○ 同校の募集要項や各学習等支援施設の募集要項において、教育課程内の教育活動である高等学校通信教育に要する費用と独自に行う活動等に要する費用の区別が不十分な記載箇所があったため、生徒・保護者等の誤解を招かないよう、これらの費用の区別について明確にするとともに、生徒・保護者等に適切かつ明確な説明が行われるようにすること。

## 2. 教育課程に関する事項

- 同校では、「学校生活の手引き」に記載されている様式2から20までを通信教育実施計画としているが、科目ごとの学習の成果に係る評価や単位修得の認定に当たっての基準などの記載が不足しており、通信教育規程第4条の3各号に規定する内容を満たすものとは言えないことから、記載内容を見直した上で生徒にあらかじめ明示すること。
- 同校の教育課程では、卒業に必要な単位を修得するにあたって、選択科目の選択肢が限られており、すべての生徒が同一内容の履修登録となるような運用となっているため、今後は、同校において生徒の特性・進路、興味・関心等に応じた適切な各教科・科目の履修ができるよう必要な配慮に努めること。
- 一部の添削指導について、解答に対する正答のみの記載が大勢を占めるものや解説の記載が簡素なものが見られるなど不十分な実態があったが、添削指導は、生徒の学習の状況を把握し、生徒の思考方向とつまずきを的確に捉えた指導が必要であることを踏まえて、生徒一人一人の学習の状況に応じた解説や自学自習を進めていく上でアドバイスを記載するなど、記載内容の充実に努めること。
- 令和3年度の面接指導について、新型コロナウイルス感染防止の観点から、オンラインによる面接指導を行っていた実態があった。感染防止対策として、令和3年1月14日付事務連絡に記載のとおり、分散登校を導入することや、多様なメディアを利用して行う学習を適切に取り入れた上で面接指導の時間数を減免することが考えられるところ、全ての面接指導をオンラインによる形式で完結させることは認められておらず、不適切であることから、今後は適切に面接指導を実施すること。
- 多様なメディアを利用して行う学習による面接指導等時間数の減免について、同校においては、メディア視聴と同程度又はそれ以上の時間を面接指導時間数から減免する不適切な運用の実態があった（NHK 高校講座2回分（20分×2）の視聴で1単位時間分の面接指導時間数を減免するなど）。高等学校学習指導要領（平成30年文部科学省告示第68号。以下「指導要領」という。）の解説に記載があるとおり、多様なメディアを利用して行う学習は、日常の学習上の障害点を解決し、教科書、学習書による学習の効果を高める上で大きな役割を果たすものである。この趣旨に鑑み、多様なメディアを利用して行う学習を計画的かつ継続的に取り入れ、その学習成果が満足できると認められる場合に、一定の範囲内で面接指導等時間数を減免できるものであり、その際、多様なメディアを利用して生徒が行った学習の時間数と、同程度又はそれ以上の時間数を免除するという運用は不適切であることから、改善のための措置を講じること。



- 一部の科目（地理総合や政治・経済など）の試験において、添削課題と同一の問題を試験とし、さらに添削課題では短答式であったものをすべて選択式とするなど易化させた試験問題としている実態があった。試験は、添削指導及び面接指導等における学習成果の評価とあいまって、単位を認定するために個々の生徒の学習状況等を測るための手段として重要な役割を担うものである。添削指導における課題と同一の問題を試験に用いて、その結果を基に評価を行うことは不適切であるため、生徒の学習成果を適切に評価できるよう、試験の在り方を改善すること。
- 同校では、生徒が修得した総合的な探究の時間の単位について、卒業するために修得が必要となる74単位から除いているが、総合的な探究の時間に係る単位についても74単位に含まれるため、適切な運用に改善すること。
- 同校における総合的な探究の時間について、添削課題を「キャリア・パスポート」としているが、指導要領では、特別活動がキャリア教育の要であることが明記されており、「キャリア・パスポート」の活用については、ホームルーム活動に関わる内容の取扱いに規定されていることから、これを添削課題とすることの妥当性について再度検討し、指導要領で定める目標を達成できるよう適切に教育活動を行うこと。
- 同校では、「健康診断」や「三者面談」などを特別活動に含めているが、これらを特別活動とすることは不適切である。指導要領に記載されている目標や内容に沿ったものとなるよう特別活動について見直すこと。
- 同校では、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点に整理して評価を行う観点別学習状況の評価が行われていないことから、指導要領を踏まえて適切に実施すること。
- 通信課程における教育の充実のため、同校においても、教員の指導力を一層向上させるべきであるところ、そのための研修の機会が設けられていないため、例えば添削指導や面接指導の在り方等について学んだり研究したりすることができるよう、研修機会の確保に努めること。

## 境 佑介

---

差出人: 境 佑介 <sakai@kokoromirai.ed.jp>  
送信日時: 2023年1月20日金曜日 12:34  
宛先: 'n-yokomachi@kokoromirai.ed.jp'  
件名: ころ未来高等学校 職員専用ページについて

ころ未来高等学校職員のみなさま

日頃よりお世話になっております。

昨日おこなわれました運営会議において  
教職員が情報共有をおこなう際に

今後、職員専用WEBページを活用することが決定いたしました。

また、将来的には朝礼の会議資料なども職員専用WEBページより  
資料を閲覧しながら担当者の話をきくなどの運用も検討しております。

まずは一度、下記のURLよりサイト内へ入り、確認をお願いします。

・ 職員専用WEBページ（ゆめ未来ホールディングスHP内）のURL  
<https://yumemirai-hd.sakura.ne.jp/wp/>

・ 職員の方が使用するアカウント（記事閲覧のみ）

【ユーザ名】 dai2

【パスワード】 dai2

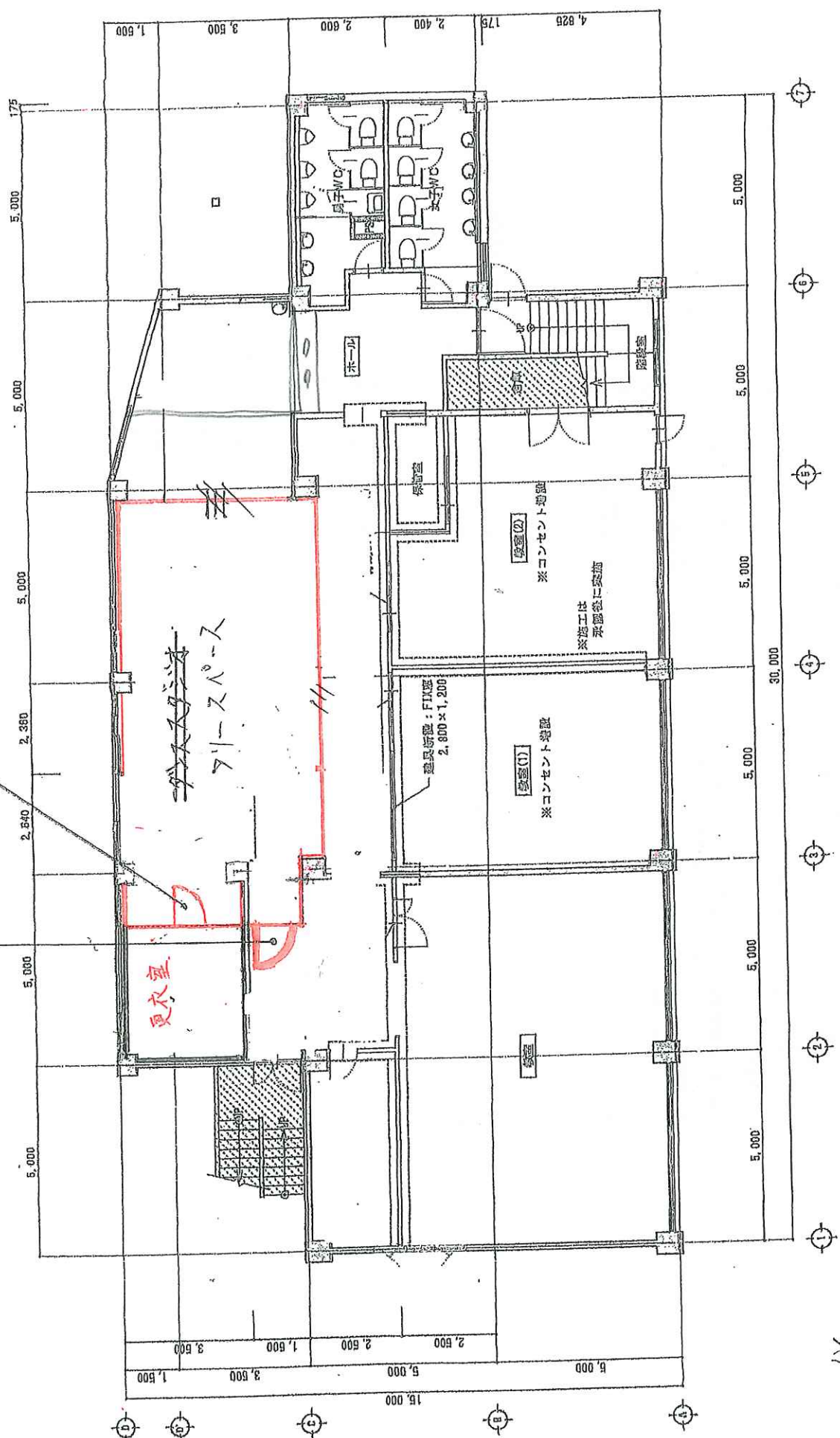
※記事の閲覧以外の操作はしないでください。

※閲覧後は、必ず「ログアウト」してください。

— 在采壁 —  
 — 防音壁 —

木製扉

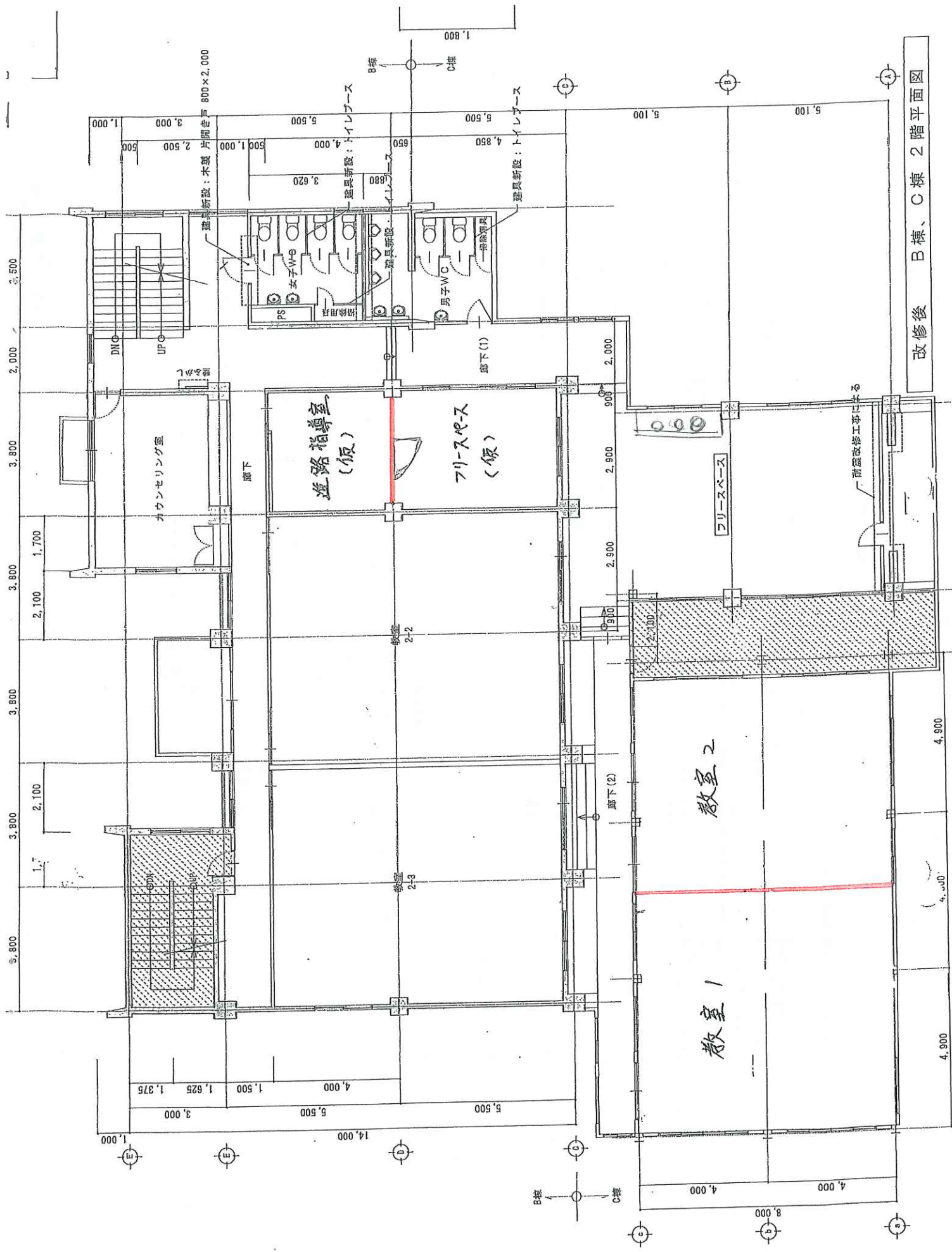
防音扉



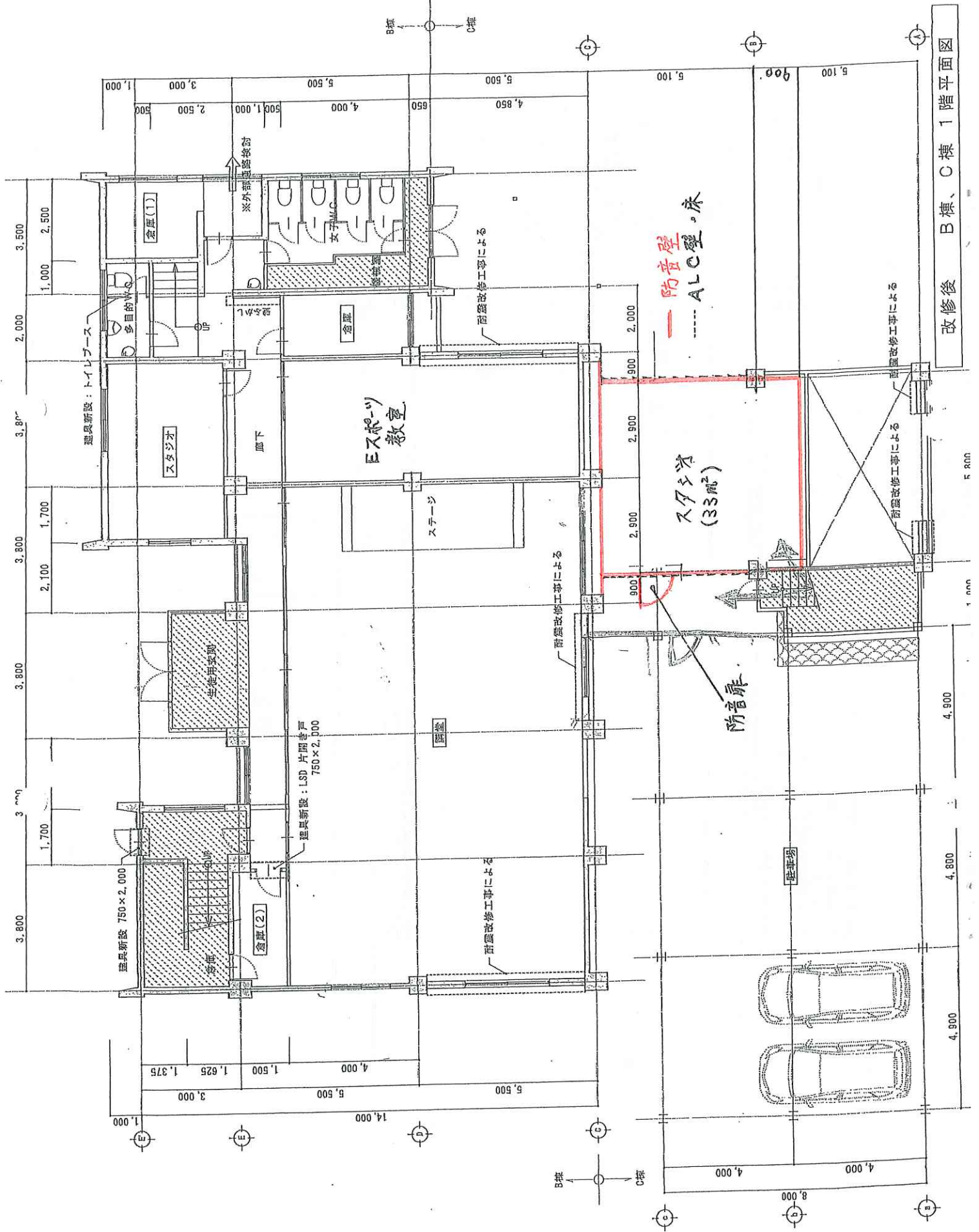
改修後 A棟 1階平面図

12/22





改修後 B棟、C棟 2階平面図



改修後 B棟、C棟 1階平面図

〈別表1〉

生徒定員数

NO	学校名・施設名	学校区分	所在地	定員数 (人)	備考
1	長崎本部校	本部校	長崎県	450	
2	学校法人大阪信愛女学院 大阪信愛学院高等学校	協力校	大阪府	[70]	NO.17にて学習支援等をうける生徒が協力校として利用
3	学校法人中野学園 オイスカ浜松国際高等学校	協力校	静岡県	[80]	NO.20、22にて学習支援等をうける生徒が協力校として利用
4	学校法人国際学園 九州医療スポーツ専門学校	面接指導等施設	福岡県	[20]	NO.10、11にて学習支援等をうける生徒が面接指導等施設として利用
5	学校法人前田文化学園 エッジ国際美容専門学校	面接指導等施設	佐賀県	[30]	NO.12、13にて学習支援等をうける生徒が面接指導等施設として利用
6	新上五島町石油備蓄記念会館	面接指導等施設	長崎県	[20]	NO.1に在籍する生徒のうち主に上五島地区に住居のある生徒が面接指導等施設として利用
7	学校法人日ノ本学園 日ノ本学園高等学校	面接指導等施設	兵庫県	[25]	NO.16にて学習支援等をうける生徒が面接指導等施設として利用
8	学校法人菊武学園 名古屋経営短期大学	面接指導等施設	愛知県	[95]	NO.14、15、19にて学習支援等をうける生徒が面接指導等施設として利用
9	夢未来高等学校佐世保校	サポート校	長崎県	110	
10	九州医療スポーツ専門学校附属夢未来高等学院北九州校	サポート校	福岡県	20	
11	九州医療スポーツ専門学校附属夢未来高等学院北九州校八幡教室	サポート校	福岡県		
12	夢未来高等学院佐賀校	サポート校	佐賀県	30	
13	夢未来高等学院佐賀校唐津教室	サポート校	佐賀県		
14	想論館学園高等部	サポート校	岐阜県	75	
15	想論館学園高等部関教室	サポート校	岐阜県		
16	夢未来高等学院姫路校	サポート校	兵庫県	25	
17	夢未来高等学院大阪信愛校	サポート校	大阪府	70	
18	夢未来高等学院千早校	サポート校	福岡県	10	
19	MIE・夢未来高等学院	サポート校	三重県	20	
20	夢未来高等学院静岡校	サポート校	静岡県	20	
21	夢未来高等学院おむら校	サポート校	長崎県	20	
22	オイスカ夢未来高等学院浜松校	サポート校	静岡県	60	
23	夢未来高等学院しまばら校	サポート校	長崎県	20	
	合計	-		930	( )の人数は重複しているため定員数には含みません





<別表5>

【協力校】

1、学校法人大阪信愛女学院 大阪信愛学院高等学校

(設置者) 学校法人大阪信愛女学院 理事長 岩熊 美奈子  
(所在地) 大阪府大阪市城東区古市2-7-30

2、学校法人中野学園 オイスカ浜松国際高等学校

(設置者) 学校法人中野学園 理事長 中野 悦子  
(所在地) 静岡県浜松市西区和地町5835番地

【面接指導等のための施設】(学習センター等)

1、学校法人国際学園 九州医療スポーツ専門学校

(設置者) 学校法人国際学園 理事長 水嶋 章陽  
(所在地) 福岡県北九州市小倉北区馬借1丁目1-2

2、学校法人前田文化学園 エッジ国際美容専門学校

(設置者) 学校法人前田文化学園 理事長 前田 勝  
(所在地) 佐賀県佐賀市唐人2丁目2-9

3、新上五島町石油備蓄記念会館

(設置者) 新上五島町教育委員会  
(所在地) 長崎県南松浦郡新上五島町青方郷1549番地6

4、学校法人日ノ本学園 日ノ本学園高等学校

(設置者) 学校法人日ノ本学園 理事長 中川 守  
(所在地) 兵庫県姫路市香寺町香呂890

5、学校法人菊武学園 名古屋経営短期大学

(設置者) 学校法人菊武学園 理事長 高木 弘恵  
(所在地) 愛知県尾張旭市新居町山の田3255-5

## 【学習等支援施設】(サポート校)

### 1、夢未来高等学院佐世保校

(設置者) 一般社団法人 日本教育機構 代表理事 加納 達也  
(所在地) 長崎県佐世保市白南風町6-24 3F

### 2、九州医療スポーツ専門学校附属夢未来高等学院北九州校

(設置者) 学校法人国際学園 理事長 水嶋 章陽 (九州医療スポーツ専門学校)  
(所在地) 福岡県北九州市小倉北区魚町3-4-5 7F

### 3、九州医療スポーツ専門学校附属夢未来高等学院北九州校八幡教室

(設置者) 学校法人国際学園 理事長 水嶋 章陽 (九州医療スポーツ専門学校)  
(所在地) 福岡県北九州市八幡東区西本町2丁目2-1  
学校法人国際学園九州CTB理容美容専門学校内

### 4、夢未来高等学院佐賀校

(設置者) 学校法人前田文化学園 理事長 前田 勝 (エッジ国際美容専門学校)  
(所在地) 佐賀県佐賀市白山1-2-21

### 5、夢未来高等学院佐賀校唐津教室

(設置者) 学校法人前田文化学園 理事長 前田 勝 (エッジ国際美容専門学校)  
(所在地) 佐賀県唐津市松南町2番77号  
学校法人コア学園唐津ビジネスカレッジ内

### 6、想論館学園高等部

(設置者) 株式会社 Five Boxes 代表取締役社長 河村 憲良  
(所在地) 岐阜県可児市今渡408-2 クレスト今渡2F

### 7、想論館学園高等部関教室

(設置者) 株式会社 Five Boxes 代表取締役社長 河村 憲良  
(所在地) 岐阜県関市弥生町3丁目2-37 ヤヨイビル3F

8、夢未来高等学院姫路校

(設置者) AMBITIOUS JAPAN 株式会社 代表取締役 西田 智則

(所在地) 兵庫県揖保郡太子町立岡 80-1

9、夢未来高等学院大阪信愛校

(設置者) 学校法人大阪信愛女学院 理事長 岩熊 美奈子 (大阪信愛学院高等学校)

(所在地) 大阪府大阪市城東区古市 2-7-30

10、夢未来高等学院千早校

(設置者) 株式会社ヤナカ 代表取締役 谷中 知美

(所在地) 福岡県福岡市東区千早 4-10-1-111

11、MIE・夢未来高等学院

(設置者) アムール有限会社 代表取締役 堀出 忠夫

(所在地) 三重県松阪市高町 215番地

12、夢未来高等学院静岡校

(設置者) 株式会社ナガクラ 代表取締役 長倉 武男

(所在地) 静岡県三島大宮町 3丁目 20-19

13、夢未来高等学院おおむら校

(設置者) 合同会社まなび舎 代表社員 梶原 恵

(所在地) 長崎県大村市宮小路 2丁目 538-1

14、オイスカ夢未来高等学院浜松校

(設置者) 学校法人中野学園 理事長 中野 悦子 (オイスカ浜松国際高等学校)

(所在地) 静岡県浜松市西区和地町 5835番地

15、夢未来高等学院しまばら校

(設置者) 株式会社 NEW SENCE 代表取締役 鍛取 新悟

(所在地) 長崎県島原市高島 2丁目 7209-5



■ ころ未来高等学校の通信制高等学校サポート校の申請について

- 都道府県： 長崎県  
法人名： 株式会社 NEW SENCE  
校舎名： 夢未来高等学院しまばら校  
所在地： 〒855-0801 長崎県島原市高島2丁目7209-5  
連絡先： TEL 0957-65-4321 FAX 0957-65-4310  
代表者氏名： 鎌取 新悟  
担当者氏名： 鎌取 新悟  
生徒定員数： 20名（目安）  
法人の特長： 県南地域にも不登校傾向にある生徒が一定数おり、従来、遠方という事情から本部校在籍が困難な家庭もあった。今回、県南地域の家庭への支援について、考えを共有できる法人と巡り合った。株式会社 NEW SENCE は、グループに特定非営利活動法人しまばらをもっており、ここでは、県南地域が抱える高齢化問題などに対応するべく、福祉事業（グループホーム・ショートステイ・デイサービス等）を中心とする活動を実践されている。代表者が掲げる「人々が健やかに暮らせる地域社会づくり」のため、福祉事業のみならず、今回をきっかけに教育事業でも地域振興に寄与するものと考えている。
- 追加施設区分： その他教育施設（通信制高等学校サポート校）  
交通アクセス： 島原駅から徒歩7分  
最寄りの面接指導実施施設： 学校法人第二岩永学園ころ未来高等学校

（添付資料）

- ・施設写真
- ・施設図面

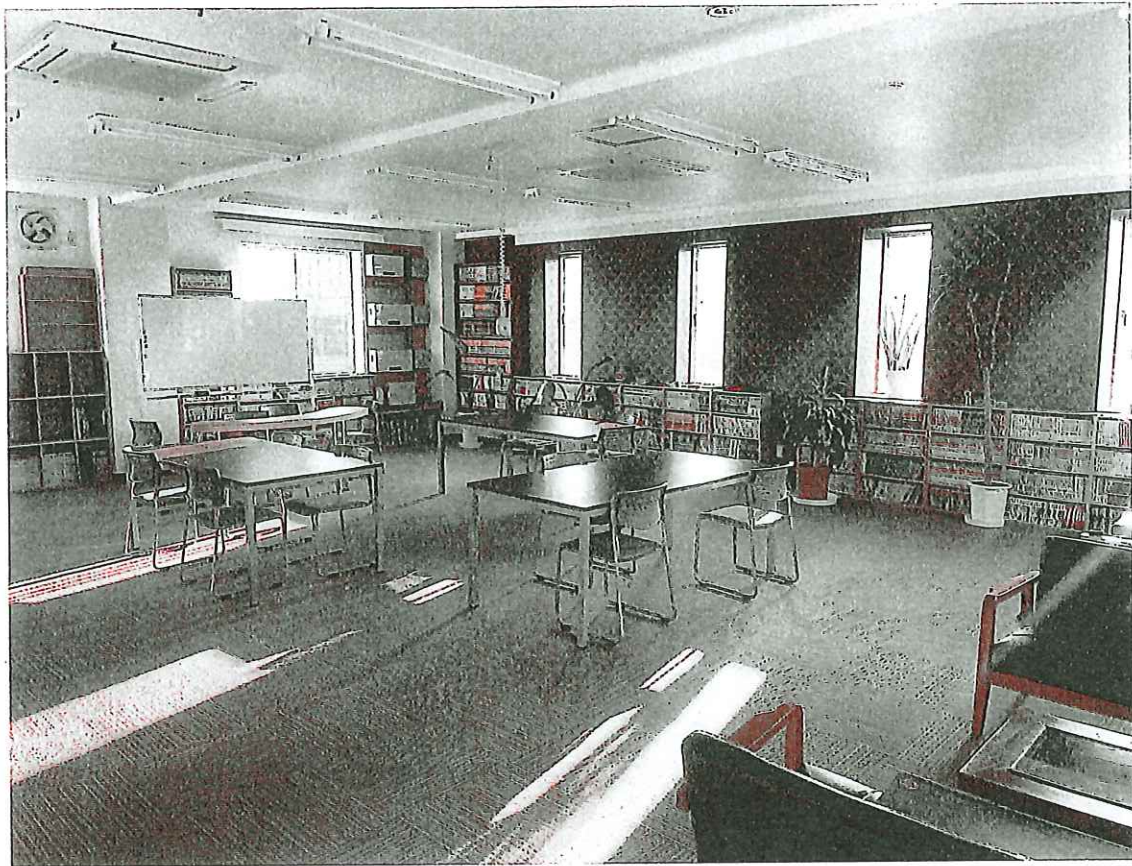
夢未来高等学院しまばら校（予定）施設



外観

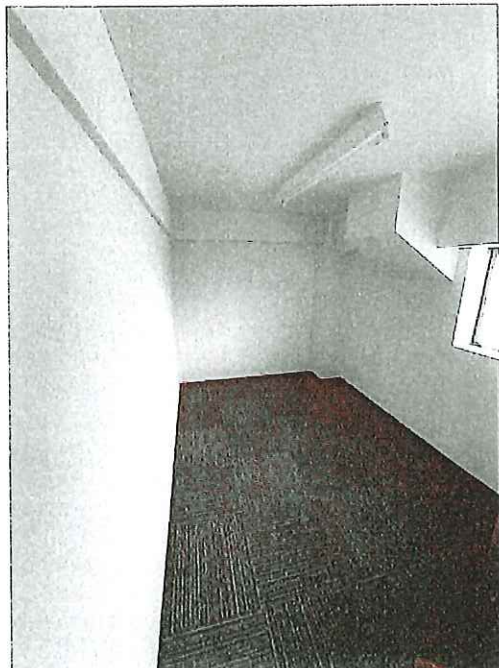


職員室（1階奥）



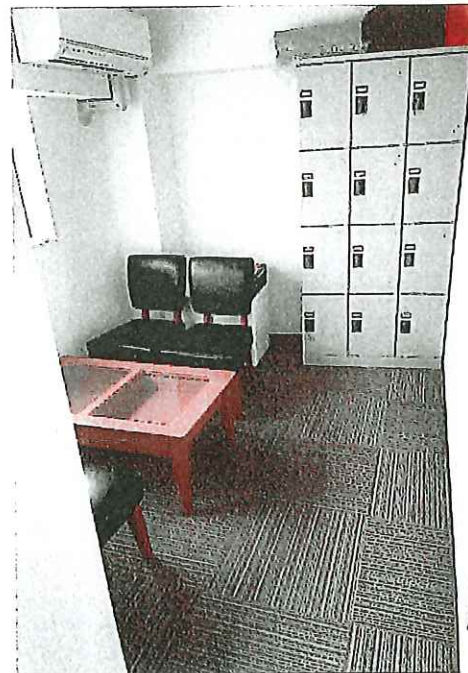
教室 1 (2階)

この場所で生徒のレポート学習支援を中心にサポート校の主たる業務を実施予定。



教室 2 (1階~2階間のスペース)

今後、机等搬入予定。



保健室 (1階~2階のスペース)

今後、ベッド等搬入予定。

